

平成 28 年度 上小圏域障がい者自立支援協議会『地域生活移行』専門部会報告

部会長：長和町 町民福祉課福祉係
事務局担当：上田保健福祉事務所、上小圏域障害者総合支援センター

1. 平成 28 年度『地域生活移行』専門部会の検討（研究）テーマの方向性
支援関係者研修における意見交換等を経て表面化した課題について、2つの柱で検討を行う。

- ① 高齢者支援関係者と障がい者支援関係者との地域移行に向けた連携強化について
- ② ピアサポート活動の実態把握と活動拠点についての研究

※必要に応じ、コアメンバーやゲストを迎えてテーマ毎の検討を行う。

2. 開催報告

*開催日時：平成 28 年 6 月 10 日（金）13：30 ～場所：丸子ふれあいステーション

【参加機関】 上小圏域内 市町村保健福祉関係課担当者 精神科病院 PSW

上田保健福祉事務所福祉課担当者、健康づくり支援課担当者、障害者支援施設職員
相談支援事業所相談支援専門員、上小山びこ会（精神障がい者家族会）、
障害者総合支援センター職員

※長野県精神保健福祉センター担当者等テーマに応じて随時支援関係者に参加協力を依頼

【部会内容】 テーマと本年度の検討課題の確認

*開催日時：平成 28 年 8 月 19 日（金）13：30～ 場所：長和町役場 会議室

【部会内容】 第 1 回研修企画と役割分担 ピアサポート活動の実態把握

*開催日時：平成 28 年 9 月 26 日（月）13：30～ 場所：上田合同庁舎 南棟会議室

事例学習会準備会 平成 28 年 7 月 19 日（火）10：30～ 場所：ふれあい福祉センター

【部会内容】 第 1 回精神障がい者支援関係者 事例学習会 参加者：25 名

*開催日時：平成 28 年 10 月 13 日（木）13：30～ 場所：上田合同庁舎 講堂

【部会内容】 第 1 回精神障がい者地域生活支援研修会

講師：岩上 洋一 氏（特定非営利活動法人 じりつ 代表理事）の講演

参加者との意見・情報交換等 参加者：63 名

*開催日時：平成 28 年 11 月 11 日（金）13:30～ 場所：ひとまち元気健康プラザ

【部会内容】 第 2 回研修企画と役割分担 ピアサポート活動実態調査

*開催日時：平成 28 年 12 月 19 日（月）13:30～ 場所：上田合同庁舎 講堂

【部会内容】 第 2 回精神障がい者地域生活支援研修会

実践報告：長期入院精神障がい者の地域移行・地域定着の実際

当事者体験発表 参加者との意見交換等 参加者：53 名

*開催日時：平成 29 年 2 月 10 日（金）13:30～ 場所：ひとまち元気健康プラザ

【部会内容】 第 2 回精神障がい者支援関係者 事例学習会 参加者：29 名

*開催日時：平成 29 年 2 月 10 日（金）15:30～ 場所：ひとまち元気健康プラザ

【部会内容】 今年度のまとめと次年度の取組みについての検討

3. その他

*ピアサポート活動についての実態調査報告

対象：「精神保健福祉手帳を所有している方」「それに準ずる障害のある方」
(市町村・精神科病院デイケア、地域活動支援センターご利用の方、当事者会の方)
期間：2016年9月～10月 15機関による質問紙調査 回収数：93名

■活動経験 なし 66名 (70%)

■活動場所 (複数回答)

- ・保健所等行政主催研修での体験発表 10名(37%)(若者こころのバリアフリー事業への協力)
- ・医療機関 (精神科)、障害福祉施設 11名(41%)
- ・その他 (福祉系大学、看護大学、高校)

■活動時の立場

- ・ボランティア 13名 (48%)
- ・県障がい者支え合い活動支援事業の「登録当事者支援員」10名 (37%)
- ・その他 厚労省モデル事業のアドボケーター (有期雇用) 2名 (7%)

■ピアサポーター養成研修等の受講経験

なし 56名 (60%)

- あり
- ・せいしれん・ピアサポートネットワーク主催の研修を受講 6名 (22%)
 - ・アドボケーター研修 2名 (7%)

■活動中のフォローアップ体制 (複数回答)

相談者なし 4名

主催者や所属している福祉事業所・病院職員 13名

ピアサポート経験のある当事者 2名

現状と課題

- 1) 現行のピアサポートの取組みは、地域移行や普及啓発に関する活動が多い。
一例 ○退院に向けた助言 ○精神科病院の院外活動への同行支援
○講師や体験発表などの普及・啓発活動 等
- 2) 活動時の立場は、ボランティアや県事業の実費弁償程度の報酬のある単発の活動。
- 3) 希望者はいるが、ピアサポーターとしての雇用は無い。(モデル事業を除く)
- 4) 当事者及び関係者に「ピアサポーター」「ピアサポート活動」が周知されていない。
- 5) ピアサポーター養成研修の機会が乏しい。(県内は、2団体で年各1回程度)
- 6) 活動のフォローアップ体制が不明瞭。

検討の方向性

- 1) 「ピアサポーター」や「ピアサポート活動」について、周知方法の検討。(出前講座等)
- 2) 地域移行、地域定着支援を担うピアサポーター養成と質の担保のための研修の検討。
- 3) ピアサポート活動の活動拠点についての検討。(地域活動支援センター他)
- 4) ピアサポーターの活動による効果の検証。(調査時に申出のあった21名との検討会議)